



平成25年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成25年2月8日

上場会社名 イートアンド株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2882 URL <http://www.eat-and.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 文野 直樹

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 仲田 浩康

TEL 03-6402-3961

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	14,846	5.5	655	18.4	647	19.6	294	31.5
24年3月期第3四半期	14,071	10.0	803	25.0	805	25.4	429	27.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	77.99	
24年3月期第3四半期	125.17	113.88

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	9,999	3,000	29.9
24年3月期	8,697	2,727	31.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,993百万円 24年3月期 2,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期		0.00		45.00	45.00
25年3月期		0.00			
25年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	6.4	902	13.7	900	15.4	440	14.3	116.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 有
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	3,814,545 株	24年3月期	3,678,795 株
期末自己株式数	25年3月期3Q	50 株	24年3月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	3,776,743 株	24年3月期3Q	3,434,859 株

当社は、平成24年4月1日付で普通株式1株につき3株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数および期中平均株式数を算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	11
4. 補足情報	12
(1) 仕入実績	12
(2) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、諸外国の景気動向は停滞気味ながら、11月下旬頃からそれまでの強い円高傾向に歯止めがかかりつつあることから、輸出産業の業績回復への期待が徐々に高まり、金融市場の動きが活発化しております。設備投資や消費財の動きはまだ活発化するに至っておりませんが、今後の見通しはこれまでよりも明るくなりつつあります。

食品業界におきましては、値下げ圧力は前々年度や前年度にくらべ若干弱まりつつあるものの、健康や調理の簡便性などの付加価値を求める傾向が強まるなど、各社の新しい価値の創造と訴求が活発になり、競争の激化に拍車がかかっております。

また、外食業界におきましては、低価格を武器に大きく業績を伸ばしてきたファストフード大手各社で既存店売上の対前割れが続いており、消費者のニーズが価格のみではなくなっている傾向が鮮明になっております。

このような状況の下、食料品販売事業におきましては、競争の激化により主力商品である冷凍餃子の在庫数の伸び率の鈍化と利幅の縮小を余儀なくされました。一方、外食事業は主力商品の改良に取り組み、関西以西を中心に既存店の売上に回復傾向がみられました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の当社の業績は、売上高が148億46百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益が6億55百万円（同18.4%減）、経常利益が6億47百万円（同19.6%減）、四半期純利益が2億94百万円（同31.5%減）となりました。

なお、セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

外食事業

外食事業におきましては、大阪王将ブランドの主力商品である焼餃子に使用するニンニクについて、食後のおいを低減することに成功し、秋以降順次全国で展開しております。特に認知度が高くかつ店舗数も多い関西以西において好評を得、既存店売上の対前比上昇に貢献しております。ラーメン専門店などその他の業態におきましては、既存店に新たな魅力を付加することに努めてまいりました。

なお、当第3四半期累計期間におきましては、加盟店34店舗（うち海外8店舗）、直営店10店舗の計44店舗を出店した一方、加盟店9店舗（うち海外4店舗）、直営店4店舗の計13店舗を閉店した結果、当第3四半期末店舗数は、加盟店363店舗（うち海外12店舗）、直営店41店舗の計404店舗（うち海外12店舗）となっております。

また、運営形態変更に伴い2店舗を直営店から加盟店、2店舗を加盟店から直営店へと変更しております。

以上の結果、外食事業における当第3四半期累計期間の売上高は、77億42百万円（前年同四半期比7.5%増）となりました。

食料品販売事業

食料品販売事業におきましては、デフレ状況の継続に伴う内食機会の増加や個食化の進行に伴い、市場は成長を続けているものの、当社の主力商品である冷凍餃子における競争の激化は、新商品の投入を待たずに、売上高伸び率の鈍化と利幅縮小を招きました。

以上の結果、食料品販売事業における当第3四半期累計期間の売上高は、71億4百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末より13億2百万円増加し、99億99百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より2億48百万円増加し、52億16百万円となりました。主な要因は、売掛金、商品及び製品、原材料及び貯蔵品の増加によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より10億54百万円増加し、47億83百万円となりました。主な要因は、平成24年9月に完成しました関東工場にかかる有形固定資産の取得のほか、株式会社ナインブロックの子会社化に伴う株式取得および億特安餐飲管理(上海)有限公司、伊特安食品(上海)有限公司、EAT&INTERNATIONAL(H.K.) CO., LIMITEDへの増資によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、前事業年度末より10億29百万円増加し、69億99百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末より6億46百万円増加し、55億46百万円となりました。主な要因は、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、買掛金、未払金の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より3億83百万円増加し、14億52百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末より2億73百万円増加し、30億円となりました。主な要因は、四半期純利益2億94百万円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は29.9%(前事業年度末31.4%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に対して4億29百万円減少し、4億61百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は47百万円(前年同四半期は3億60百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益5億24百万円の計上、減価償却費2億53百万円の計上などが増加の要因であり、売上債権の増加額4億40百万円、法人税等の支払額3億87百万円などが減少の要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は12億2百万円(前年同四半期は6億64百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出10億18百万円、関係会社株式の取得による支出97百万円、差入保証金の支出77百万円、関係会社出資金の払込による支出50百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は7億26百万円(前年同四半期は3億61百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入れによる収入6億円、短期借入金の純増減額による増加3億35百万円などが増加の要因であり、長期借入金の返済による支出1億30百万円、配当金の支払い55百万円などが減少の要因であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

前回発表(平成24年5月8日付「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」)いたしました通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、修正しております。

詳細につきましては、本日(平成25年2月8日)公表いたしました「固定資産の減損損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成24年6月1日付で、株式会社ナインブロック(非連結子会社)の株式の一部を取得、平成24年7月11日付で億特安餐飲管理(上海)有限公司(非連結子会社)、平成24年12月6日付で伊特安食品(上海)有限公司(非連結子会社)への増資が完了しております。

(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益および税引前四半期純利益はそれぞれ14百万円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	927,796	467,803
売掛金	3,410,208	3,850,748
商品及び製品	324,811	479,016
原材料及び貯蔵品	103,196	143,399
前払費用	64,276	109,485
繰延税金資産	95,724	34,783
その他	46,837	133,875
貸倒引当金	4,711	2,225
流動資産合計	4,968,138	5,216,887
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	753,995	1,923,728
土地	1,089,772	1,089,772
その他(純額)	1,134,926	768,544
有形固定資産合計	2,978,694	3,782,046
無形固定資産	45,750	38,431
投資その他の資産		
差入保証金	441,400	513,646
繰延税金資産	114,223	141,991
その他	178,834	336,904
貸倒引当金	29,923	29,923
投資その他の資産合計	704,535	962,619
固定資産合計	3,728,980	4,783,096
資産合計	8,697,118	9,999,984
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,507,196	2,689,352
短期借入金	62,000	397,740
1年内返済予定の長期借入金	80,808	225,130
未払金	1,174,414	1,386,943
未払費用	213,985	239,793
未払法人税等	214,129	20,100
賞与引当金	133,679	60,794
役員賞与引当金	20,550	15,932
売上割戻引当金	335,708	392,058
その他	157,659	119,043
流動負債合計	4,900,130	5,546,889

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
固定負債		
長期借入金	11,446	336,638
退職給付引当金	70,680	77,932
役員退職慰労引当金	264,090	276,890
その他	723,694	761,536
固定負債合計	1,069,910	1,452,997
負債合計	5,970,041	6,999,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	443,172	456,747
資本剰余金	375,608	389,183
利益剰余金	1,907,419	2,146,778
自己株式	-	47
株主資本合計	2,726,200	2,992,661
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	876	1,129
評価・換算差額等合計	876	1,129
新株予約権	-	6,306
純資産合計	2,727,077	3,000,097
負債純資産合計	8,697,118	9,999,984

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	14,071,914	14,846,946
売上原価	9,172,342	9,653,277
売上総利益	4,899,572	5,193,668
販売費及び一般管理費	4,096,066	4,538,189
営業利益	803,505	655,479
営業外収益		
受取利息	1,064	899
受取配当金	145	157
受取手数料	12,349	9,881
補助金収入	40	1,950
貸倒引当金戻入額	12,619	2,486
雑収入	1,465	1,491
営業外収益合計	27,684	16,865
営業外費用		
支払利息	7,628	6,765
社債利息	64	-
株式交付費	5,716	-
株式公開費用	9,481	16,428
雑損失	2,482	1,608
営業外費用合計	25,373	24,802
経常利益	805,816	647,542
特別利益		
投資有価証券売却益	180	-
特別利益合計	180	-
特別損失		
固定資産売却損	1,104	1,400
固定資産除却損	12,252	8,136
投資有価証券売却損	80	-
減損損失	2,139	113,730
店舗閉鎖損失	3,153	-
特別損失合計	18,730	123,267
税引前四半期純利益	787,265	524,275
法人税、住民税及び事業税	270,978	196,701
法人税等調整額	86,357	33,033
法人税等合計	357,336	229,734
四半期純利益	429,928	294,540

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	787,265	524,275
減価償却費	201,396	253,490
減損損失	2,139	113,730
店舗閉鎖損失	3,153	-
投資有価証券売却損益(は益)	99	-
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,614	7,252
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	12,250	12,800
賞与引当金の増減額(は減少)	54,584	72,884
役員賞与引当金の増減額(は減少)	1,272	4,617
売上割戻引当金の増減額	12,998	56,350
貸倒引当金の増減額(は減少)	12,619	2,486
受取利息及び受取配当金	1,209	1,056
支払利息	7,692	6,765
株式交付費	5,716	-
株式公開費用	9,481	16,428
有形固定資産除売却損益(は益)	13,357	9,537
売上債権の増減額(は増加)	1,224,510	440,539
たな卸資産の増減額(は増加)	129,428	194,408
その他の資産の増減額(は増加)	24,848	142,374
仕入債務の増減額(は減少)	1,044,826	182,156
未払費用の増減額(は減少)	39,861	25,787
未払金の増減額(は減少)	105,433	119,800
未払消費税等の増減額(は減少)	62,276	40,019
預り保証金の増減額(は減少)	85,450	35,109
その他の負債の増減額(は減少)	24,789	24,896
小計	825,124	440,198
利息及び配当金の受取額	1,047	1,064
利息の支払額	7,463	6,909
法人税等の支払額	457,743	387,154
営業活動によるキャッシュ・フロー	360,964	47,199

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	4,500	4,500
定期預金の払戻による収入	-	35,307
有形固定資産の取得による支出	684,249	1,018,216
有形固定資産の売却による収入	4,268	1,769
無形固定資産の取得による支出	6,286	9,965
投資有価証券の取得による支出	1,907	-
投資有価証券の売却による収入	763	-
関係会社出資金の払込による支出	-	50,319
関係会社株式の取得による支出	7,308	97,576
出資金の回収による収入	-	1,010
貸付金の回収による収入	6,393	4,970
差入保証金の差入による支出	12,927	77,708
差入保証金の回収による収入	40,948	12,578
投資活動によるキャッシュ・フロー	664,805	1,202,650
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(は減少)	46,000	335,740
長期借入れによる収入	-	600,000
長期借入金の返済による支出	139,241	130,486
社債の償還による支出	10,000	-
株式の発行による収入	526,240	-
自己株式の取得による支出	-	47
配当金の支払額	10,060	55,110
株式の発行による支出	5,716	-
株式公開費用の支出	9,481	16,428
リース債務の返済による支出	36,017	40,858
ストックオプションの行使による収入	150	27,150
新株予約権の発行による収入	-	6,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	361,872	726,266
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	58,031	429,185
現金及び現金同等物の期首残高	1,235,247	890,488
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,293,278	461,303

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第3四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書合計 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	7,201,521	6,870,392	14,071,914	14,071,914	-	14,071,914
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	7,201,521	6,870,392	14,071,914	14,071,914	-	14,071,914
セグメント利益	549,833	330,448	880,282	880,282	76,776	803,505

(注)1. 当第3四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額 76,776千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書合計 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	7,742,146	7,104,799	14,846,946	14,846,946	-	14,846,946
セグメント間の内部売上高 または振替高	-	-	-	-	-	-
計	7,742,146	7,104,799	14,846,946	14,846,946	-	14,846,946
セグメント利益	514,876	223,177	738,053	738,053	82,574	655,479

(注)1. 当第3四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額 82,574千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」セグメントの店舗設備について、113,730千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入実績

当第3四半期累計期間における仕入実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額	前年同期比(%)
外食事業(千円)	3,110,991	107.9
食料品販売事業(千円)	4,425,713	101.6
合計(千円)	7,536,705	104.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績は次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額	前年同期比(%)
外食事業(千円)	7,742,146	107.5
食料品販売事業(千円)	7,104,799	103.4
合計(千円)	14,846,946	105.5

(注) 1. 主な相手先別の販売実績および当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
三菱食品株式会社	3,293,266	23.4	3,604,985	24.3

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。